2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[岡崎市立秦梨小学校] 担当教諭名[国分 貴寛] （ 6年 8名 1－5年 43名 ）
交流相手国[ニカラグア]
海外学校名[El Centro Cultural De Nandasmo] 担当教諭名[Elica De Los Angeles Gutierrez Lopez / 新井 陽子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教　科	単　元　名	時間数
アートマイルに関連した実施教科・時間数	図画工作	秦梨のよさを壁画に表そう	10
	総合的な学習の時間	秦梨のよさを話し合おう	5
	総合的な学習の時間	ニカラグアの子と仲良しになろう	5

■作品について教えてください。

題（テーマ）	ふるさと秦梨とニカラグアのよさを伝え合おう
絵に込めたメッセージ	地域と結びついた学校生活を中心とした場面を描くことで、子供たちがお互いの生活環境文化のよさを伝え合いたい

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成　果	課　題
・ふるさと秦梨のよさを再確認できた。 ・壁画を表現し発表することで、子供たちのコミュニケーション能力が養えた。	・取組の活動時間の配分。 ・絵は集中して描けたが、壁画のテーマづくりや画面構成において、子供たちの主体的な活動を設定できなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・海外の子に伝えるために、自分たちの町や文化について、もう一度考えることができた。 ・言語の問題を意識し、英語の授業に真剣に取り組むようになった。	・ニカラグアという国で暮らす子供たちを知り、日本の当たり前が当たり前でないことを意識できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・ニカラグアの子と自己紹介を通して交流する。	・どんな相手か楽しみ ・英語が不安 ・もっと相手を知りたい	総合学習
テーマ学習	9月 10月	・相手の国について調べる。 ・相手に伝えたい秦梨のよさを考える。	・日本の方が栄えているな ・秦梨小の自慢はなんだろう	総合学習
構図決定	10月 11月	・秦梨のよさを表す場面の構図を考える。	・どの位置に描こうか。 ・日本で有名なものは描かない方がいいかな。	総合学習 図画工作
壁画制作	11月	・下絵を描く。 ・下絵を写し、下描きをする。 ・着色する。	・場面を区切った構図に下描きをするのは、難しいな。 ・丁寧に色を塗ったよ。	図画工作
鑑賞・振り返り	12月 3月	・OC 委員会で学区の方へ向けて発信する。 ・集会で全校に発表する。 ・鑑賞。全校へ披露。	・学区の人にも知ってもらえてよかった。 ・自分たちの思いをしっかり伝えよう。 ・相手の国のこと、もっと調べないと。	総合学習

■学習目標（つけたい力）と成果（ついた力）について教えてください。

「目標」 先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 （A：特に重視した B：重視した C：特に重視しなかった）

「成果」 先生の手応え （5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：身につかなかった）

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	日本について知らないことが多いと認識できた。
異文化の理解	B	4	十分時間が取れなかった。
コミュニケーション力（説明・共感・英語）	C	5	子供たちの考えを優先できた。
情報活用能力（情報収集・発信）	B	3	発表の内容に深みがなかった。OC 委員会や集会で発表できた。
人間関係をつくる（学級内・交流相手）	B	3	いつもと違う子供にリーダーとして活躍させることができた。
協働する力（役割分担・協力）	A	4	一人一人が役割を果たし、協力できた。絵も場面ごとに責任を持って描けた。
学習を追究する意欲	A	3	他教科とのバランスもあり、意欲の持続・タイミングが難しい。
表現力（伝えたいことを絵で表す）	A	5	ふるさと秦梨のよさをしっかり考えることができた。
作品を鑑賞する力	B	3	十分に時間を取れなかった。